

防災消防ヘリコプター



「ひばり」運航開始
高速性や機動性を生かして、救急・救助活動、林野火災消火活動、災害時の応急対策活動などを行っています。

八月

平成十三年度全国高等学校総合体育大会「ひのくに新世紀総体」の開催

「このとき 君が輝き 風になる」のスローガンのもと、全国の約三万三千人の選手らが二十八競技に熱戦を繰り広げました。また、大会を支えた約七万人の高校生の汗と笑顔が輝く大会となりました。



総合開会式での県選手団の入場

九月

江田船山国宝展の開催



銀象嵌銘大刀に見入る知事

菊水町の江田船山古墳から出土した「銀象嵌銘大刀」をはじめとする国宝の品々が百二十八年ぶりに里帰りしました。

市町村合併への取り組みが進展

新町名を「あさぎり町」として平成十五年四月の合併を目指す中球磨地域をはじめ、県内各地で合併についての取り組みが進んでいます。

ノリ不作等緊急対策事業の実施

有明海では、昨年度のノリ養殖が不作となったことから、漁場改善のため、干潟を耕やしたり、アサリのまきつけなどを実施しました。

第四回APEC人材養成大臣熊本合会

この合会が初めて地方都市で開催され、熊本を世界に広くアピールし、熊本の国際交流、人材養成の発展の契機となりました。



熊本県緊急雇用対策会議の設置

長期不況などにより、一層厳しさを増す雇用情勢の中、総合的な雇用対策を進めています。

十月

大手企業が相次いで進出

半導体関連では、ソニーセミコンダクタ九州(株)と(株)荏原九州工場が進出しました。また、待ち望まれていたサントリ-熊本工場(仮称)の建設も決定しました。

南九州西回り自動車道「日奈久IC」の開通



八代ICから日奈久温泉街まで、国道3号に比べ十六分の時間短縮になり、水俣・芦北方面へのアクセスが便利になりました。

「第六回地球環境汚染物質としての水銀に関する国際会議」の開催

水俣市で、世界三十九カ国の水銀問題の研究者四一二人が、最新の研究成果を発表しました。また、水俣病の教訓や、再生に取り組み水俣の姿を世界に発信できました。



熊本県牛海綿状脳症対策会議の設置

牛海綿状脳症(いわゆる狂牛病)に対して、徹底した検査による食肉の安全性の確保や正確な情報の発信、経営の安定化を図るための対策などに引き続き取り組んでいます。

十二月

熊本県有明海・八代海再生に向けた総合計画(仮称)の策定に向けて

有明海・八代海の再生に向け、当面取り組みむべき環境保全や水産資源回復の方向性を明らかにした総合計画を策定する予定です。

熊本県男女共同参画推進条例の制定に向けて

県、県民、事業者及び市町村が協働しながら、性別にとらわれず、人として尊重される男女共同参画社会づくりを目指す条例の制定に取り組んでいます。

知事室から



熊本県知事 潮谷 義子

年末のお忙しい中、皆様いかがお過ごしでしょうか。二十一世紀の幕開けとなった今年、県政においては、「ひのくに新世紀総体」の成功をはじめ実りの多い年だったと思います。その主なものについて今回の特集でご紹介しておりますが、このほかにも、全国的に誇れる取り組みがありました。その幾つかに触れてみたいと思います。例えば、福祉分野では、脳卒中などの生活習慣病を予防するための「個別健康教育」が九十二の市町村で実施され、多くの県民の方々に参加いただいています。これは、全国一の取組率です。また、「市町村障害者計画」については、一年間で一気に五十七市町村で策定されました。農業分野では、自然にやさしい農業を実践する農家「エコファーマー」が、千七百戸をこえる全国一の認定数となりました。これらは、多くの県民の皆様、積極的に参加いただいた成果であり、感謝を申し上げます。厳しい経済情勢が続いておりますが、来年が明るく希望にみちた年となるように、皆様との「パートナーシップ」を大切にしたいと県政を進めて参ります。